

鹿屋市立花岡小学校 特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	2 0	2 0	3 5	3 5	7 0	7 0	2 5 0
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book Picture Dictionary	教科書 My Book Picture Dictionary	

鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒に作り、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」の育成を目指します。

2 本校の教育目標

9 年間の連続した学びの中で、ふるさと花岡を愛し、自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、健康でたくましく生きる児童生徒を育てる。

3 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

(1) 1・2 年生の取組

主に「1. 歌、2. チャンツ、3. ゲームを 2・3 種類、4. 振り返り」の流れで授業を進めた。JTE や ALT には、ゲームに参加してもらったり、外国の文化について話をしてもらったりした。

(2) 3・4 年生の取組

Let's Try の指導書にある指導案を参考にして進めた。ゲームやチャンツを取り入れ楽しく活動できるようにした。JTE や ALT には、主に正しい発音指導をしてもらった。担任はできるだけ英語で授業を進めるよう心掛けた。

(3) 5・6 年生の取組

My Book を使い、それぞれの unit で紹介し合う内容に合わせてペアで尋ね合う活動を多く取り入れた。その際、Sing&Chant をしっかり覚え、基本的な会話が抵抗なくできるようにした。

(4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）

小中一貫校としての良さを生かし、小学6年生に中学校の英語教諭が乗り入れ授業を実施し、専門性を生かした授業を展開している。

(5) 校内研修体制について

中学校の英語研究授業に参加し、研修を深めた。

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
楽しい	63%	38%	63%	69%	33%	0%
どちらかというと楽しい	26%	42%	17%	16%	40%	58%
あまり楽しくない	11%	17%	20%	11%	20%	29%
楽しくない	0%	3%	0%	4%	7%	13%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
31%	69%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述、一部抜粋）

- 多少の発音や文法の間違ひは気にせず、楽しく、自分からどんどん話すことができる積極性を伸ばす。
- 異文化にふれることで、広い視野のもてる子の育成につながってほしい。
- 英語が身近に感じられるよう（英語が嫌いな教科にならないよう）簡単な会話をしようとする意欲を大切にする。

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは、英語の授業が好きですか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
41%	39%	14%	6%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述、一部抜粋）

- 少しでも早くから取り組むことで、頭で考えなくても抵抗なく、楽しみながら、自然に会話ができるようになってほしい。
- 外国の方による本当の発音を教えてほしい。(早い方が受け入れ易いと思うので)

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
71%	29%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述、一部抜粋)

- 話すことをためらわず、進んでコミュニケーションをとる姿勢
- 楽しみながら英語にふれ、親しみ、興味をもつこと
- 国際化がますます進むので、英会話をナチュラルにこなすこと

5 令和4年度の取組について

(1) 1・2年生の取組

ICT機器を活用し、昨年度有効であった「1.歌、2.チャンツ、3.ゲームを2・3種類、4.振り返り」の流れで授業を進めたい。JTEやALTには、正しい発音を学び、外国の話をしてもらおう機会を作りたい。

(2) 3・4年生の取組

ICT機器を有効に活用し、Let's Tryの指導書にある指導案を参考にして進めたい。ゲームやチャンツを取り入れ楽しく活動できるようにしたい。担任はできるだけ英語で授業を進めるよう心掛け、JTEやALTには、主に正しい発音指導をしてもらう。

(3) 5・6年生の取組

ICT機器を有効に活用し、My Bookを使い、それぞれのunitで紹介し合う内容に合わせてペアやグループでのコミュニケーション活動を多く取り入れたい。その際、Sing&Chantをしっかりと覚え、基本的な会話が抵抗なくできるようにしたい。

(4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議（小中一貫教育）について

英語の担当者を中心に、研修会に積極的に参加し、他の担任に有効な指導法等を伝える。小中一貫校として高学年には中学校からの乗り入れ授業を推進する。

(5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会（小学校：スキット部門）について

積極的に弁論大会への参加を応募し、家庭と連携しながら、進める。

(6) グローカル・イングリッシュキャンプについて

委員会からの文書を確実に配布し、集約し、スムーズに参加できるようにする。

- (7) 国立台北教育大教育実習生の受入による交流授業並びに遠隔授業について
どのような取組であるのか、どのような良さがあるのか担任等に周知し、募集する。
- (8) スピーキングクエストの実施について
実施方法等についてオンライン研修等を活用したり、昨年度実施した担任から、本年度の担任へつないだりして確実な実施に努め、結果を指導に生かすようにする。
- (9) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について
学習指導案を基に、基本的な学習の流れを決めて実施し、連絡会等で話題にする。